

このメールは大田区の配信情報提供サービスに登録されている方に送信しています。

大田区保健所メール 4月号 令和6年3月28日

【目次】

- 1 感染症情報
- 2 食中毒発生状況
- 3 トピックス
 狂犬病予防定期集合注射を実施します
- 4 特集
 花粉-食物アレルギー-症候群 (PFAS)

1 感染症情報

◆感染症の最新情報はこちらから◆

↓↓↓

○大田区「感染症週報」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/syuuhou.html

◆◆◆感染症流行状況について◆◆◆

感染性胃腸炎は第10週(3月4日から3月10日) 8.23から第11週(3月11日から3月17日) 5.92と減少しています。

インフルエンザは第10週 11.95から第11週 11.29と横ばいです。

◆◆◆新年度までに予防接種を済ませましょう◆◆◆

新年度は外出や集団生活等で他の人と接触する機会が多くなり、感染症に罹患する可能性も高くなります。予防接種をうけ、ワクチンで防ぐことができる病気(VPD:Vaccine Preventable Diseases)を防ぎましょう。定期予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。母子手帳に掲載されているスケジュール等を参考にかけつけ医と相談しましょう。

○公益社団法人 日本小児科学会「日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール」

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=138

【MR(麻しん・風しん混合)ワクチン】

現在、都内で麻しんが発生しています。

第1期は1歳になったらなるべく早く、第2期は小学校就学前の1年間(4月1日から3

月 31 日)になったら、できるだけ早期に接種しましょう。確実な免疫を得るためには、99%以上の人に免疫がつくといわれる 2 回の接種(1 期・2 期)がのぞましいとされています。2 期接種は、長期間有効な免疫を確実につけるために必要です。忘れずに接種を受けるようにしましょう。

○大田区「麻しん(はしか)」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/kansen_taisaku/hoka_kansensyo/mas_in.html

【HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン】

ヒトパピローマウイルス (HPV) は、性行為によって感染するウイルスで、性行為を経験する年頃になれば、男女問わず多くの方が HPV に感染します。子宮頸がんのほか、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの疾患の原因になることが分かっています。

女性だけではなく、男性も予防接種を受けることで、疾病を予防すると共に、未感染のパートナー等への感染予防効果も期待できます。

私たちの身の回りには、細菌やウイルスによって引き起こされるさまざまな感染症があります。ワクチンで防げる病気を予防するためにも、計画的に予防接種をすすめましょう。

2 食中毒発生状況

■大田区の食中毒発生状況

令和 6 年 2 月に食中毒は発生していません。

■東京都の食中毒発生状況

令和 6 年 2 月に、15 件(患者 205 名)の食中毒が発生しました(令和 6 年 3 月 15 日現在)。病因物質の内訳はアニサキス 3 件(患者 3 名)、ノロウイルス 10 件(患者 189 名)、カンピロバクター 2 件(患者 13 名)でした。原因施設は、アニサキスは飲食店(一般) 2 件、魚介類販売業 1 件、ノロウイルスは飲食店(一般) 7 件、集団給食(要許可) 2 件、集団給食(届出) 1 件、カンピロバクターは飲食店(一般) 1 件、不明 1 件でした。

○東京都「都内の食中毒発生状況(速報値)」

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/tyuudoku/r6_sokuhou.html

3 トピックス

■ 狂犬病予防定期集合注射を実施します

・ 期間 令和6年4月5日（金）～22日（月）

・ 会場 区内指定動物病院（39か所）

犬の飼い主には、年1回（4月から6月の間）飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせることが法律で義務付けられています。大田区では、狂犬病の発生及びまん延を予防するため集合注射を実施しますので、ぜひご利用ください。

会場では、狂犬病予防注射と同時に注射済票の交付や犬の新規登録を受け付けます。マイクロチップを装着している犬の新規登録については、環境大臣指定登録機関で行ってください。なお、環境大臣指定登録機関へマイクロチップ情報登録をしていただくと、大田区の登録とみなされます。

○大田区ホームページ「令和6年度狂犬病予防定期集合注射」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/pet_dog_cat/dog/cyusya.html

○環境省「オンラインでマイクロチップ情報を登録しましょう」

<https://reg.mc.env.go.jp/>

4 【特集】花粉-食物アレルギー症候群（PFAS）

花粉アレルギーのある方が、野菜や果物を生で食べた際に、唇、舌、口の中や喉にかゆみやしびれ、むくみなどがあらわれることがあります。こういった症状を花粉-食物アレルギー症候群（PFAS）と呼んでいます。

このアレルギー症状は、花粉にあるアレルギーの原因となる物質（アレルゲン）と、果物や野菜に含まれるアレルゲンが似ているために起こります。1人の患者が複数の原因食物を持つことが多い一方で、主な原因となるアレルゲンが熱に不安定のため、ジャムやコンポート等の加熱加工されると症状が出なくなることが多いのも特徴です。

【花粉-食物アレルギー症候群に関与する花粉と食品の代表例】

■カバノキ科（シラカンバ・ハンノキ・オオバヤシャブシ）

リンゴ、モモ、サクランボ、ナシ、アーモンド、セロリ、人参、ジャガイモ、大豆、ピーナッツ、キウイフルーツ、ヘーゼルナッツ、マンゴー など

■ヒノキ科（スギ）

トマト

■イネ科

メロン、スイカ、トマト、ジャガイモ、キウイフルーツ、オレンジ、ピーナッツ など

■ヨモギ

セロリ、人参、マンゴー、スパイス など

■ブタクサ

メロン、スイカ、ズッキーニ、キュウリ、バナナ など

上記の組み合わせ以外でも症状が誘発されることがあるので、ご注意ください。

○アレルギーポータル

<https://allergyportal.jp/knowledge/hay-fever/>

★「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

大田区保健所では「手洗い実験キット」の貸し出しを実施しています。普段行っている手洗いが正しくできているかを目で見て確認することができます。

「手洗い実験キット」の貸し出しを希望される方は、大田区保健所生活衛生課 (5764-0698) にお問い合わせください。

詳しくはこちらへ↓大田区のホームページ

「手洗い実験キット」の貸し出しをしています

<https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/hoken/eisei/shokuhin/ippan/tearai-kit.html>

「」

登録情報の変更・配信停止は以下 URL からお願いします。

<http://hokenjyo.city.ota.tokyo.jp/>

大田区保健所メールにご登録いただき、誠にありがとうございます。また、本メールの内容を充実させていきたいと考えております。

ご質問、ご意見、ご感想を以下のアドレスにお寄せください。

次号は、4月末に配信予定です。

eisei@city.ota.tokyo.jp 担当 高野 水野